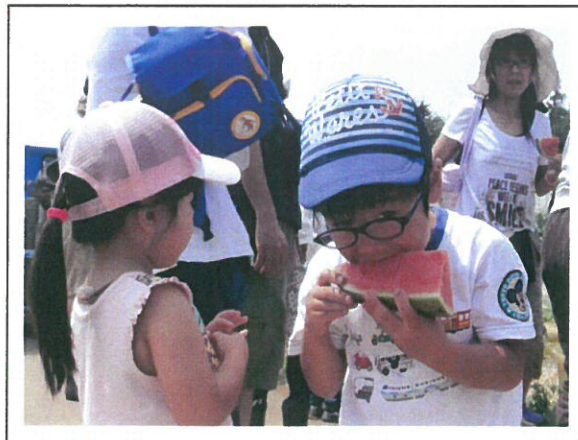


〔収穫 7月26日〕



定植から2カ月後、約50本の苗から、約500個のすいかが成った



採れたてのすいかを畑でガブリ。自分で植えたすいかは、また特別に美味しい



生産者に教えていただきながら、おいしいすいかを自分で収穫した



親も子もおよろこび

【参加者の主な声】

- ・植える前にたくさん手をかけた苗。接木も知らずに参加していました。肥料を蒔き、畝を作り、とても柔らかな土に、そっと植えたことを憶えています
- ・生産者の思いや、生産の技術、努力を知るには、やはり現地に行ってじかに話すことがとても大切です。また、茨城県西産直センターの温かいもてなしに感激でした。

【企画のまとめ】

(1) 取り組み状況

- ① 登録者は32人（16家族、大人22人、子ども10人）、延べ参加人数は78人（41家族、大人51人、子ども27人）であった。
- ② 2回目のワラ敷きはあいにくの雨で、参加者による作業体験はできなかった。

(2) 成果

- ① 約500個のすいかが収穫できた。
- ② 果実（すいか）の農作業体験を通じ、生産者のこだわり、技術、思いなどを知ることができた。

[3]大豆コース (JA やさと)

(1) 目的

種まき、草取り・枝豆の試食、収穫・脱穀、豆腐作りの作業体験を通じて、大豆の生育過程や国産大豆の現状などを学び、同時に自分たちで育てた大豆で、消泡剤などを使用せずに作った豆腐を堪能する。

(2) これまでの経過

数年前より本企画を実施しており、身近だが手作りする経験の少ない豆腐を大豆から作る体験は毎回好評である。

(3) 日程と参加状況

大豆コース (4回)		参加人数					
日程	作業内容 収穫体験	総数	家族数	大人	子ども	小学生	未就学
7月5日(土)	種まき	12	5	6	6	3	3
10月4日(土)	草取り 枝豆試食	16	7	9	7	4	3
11月22日(土)	収穫 脱穀	18	8	10	8	4	4
12月20日(土)	豆腐作り	17	8	9	8	4	4
参加延べ人数		63	28	34	29	15	14
登録人数	第1回	12	5	6	6	3	3
	追加	11	4	6	5	3	2
	登録人数	23	9	12	11	6	5

[大豆の種まき 7月5日]



朝日里山学校の中でまず、大豆のことや、今の日本の農業の状況などについてお話を伺った



畑にひもを張り、種を植えていく場所と間隔を決めた



指で畑に穴を開け大豆を植えた



植えた後で、鳥から種を守るために、黄色い防鳥ラインを張った

〔10月4日 雑草取り、枝豆収穫・試食〕



種まき後3ヵ月。青々と実った大豆



枝豆もたくさん実った



根のしっかり張った枝豆は、親子で引っ張ってもなかなか抜けなかった



大豆の生長を妨げる雑草も抜いた

[11月22日 収穫]



枝豆収穫後、約1カ月半がたち、いよいよ大豆の収穫



収穫した、大豆の根を切った



収穫した大豆を一カ所に集めた



畑で大豆の脱殻をしようとしたが、機械の調子が悪く、後日、農協にお願いした

[12月20日 豆腐作り]



種植え、雑草取り、枝豆収穫、大豆収穫と体験を積んでできた、自分たちの大豆を使い、豆腐作りを実施



まず、大豆をミキサーに掛け、クリーム状にし、鍋に移し煮た